

## 計画のポイント

函館市・北斗市・七飯町は、港をベースとする水産・海洋関連産業を中心に発展し、特に食料品製造業の製造品出荷額等は、約1,193億円となっており函館地域の製造業全体の48%を占める基幹産業となっている。このほか、システム情報科学に特化した公立はこだて未来大学や、ものづくり技術などの先端技術を有する函館工業高等専門学校などの高等教育機関も集積しており、近年では積極的にIoT・AI関連企業の研究開発拠点を誘致し、新産業創出や雇用拡大を目指している。

こうした地域特性を生かした事業を推進し、企業の生産性向上や付加価値向上を図り、経済の好循環を創出することを目指す。

## 促進区域

北海道函館市・北斗市・七飯町

## 経済的効果の目標

- ・ 1件あたり平均40百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を8件創出。
- ・ これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.42倍の波及効果を与え、促進区域で**454百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

## 制度・事業環境の整備

- ・ 不動産取得税、固定資産税の減免措置の創設
- ・ IT活用による生産性向上への支援
- ・ 地方創生推進交付金の活用
- ・ 食産業の販路拡大事業の実施
- ・ 函館市の公共データのcsvデータ化、事業者ニーズに応じた必要な公共データの提供（オープンデータ化）
- ・ 事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・ 事業継承・事業再編支援等についての周知
- ・ 研究開発・販路開拓等への支援
- ・ 企業誘致の促進

## 地域経済牽引支援機関

- ・ 未来AI研究センター
- ・ (公財)函館地域産業振興財団
- ・ 北海道大学大学院水産科学研究院
- ・ 北海道立函館高等技術専門学校
- ・ (株)日本政策金融公庫函館支店
- ・ 北海道立工業技術センター
- ・ 公立はこだて未来大学
- ・ 函館工業高等専門学校

## 地域経済牽引事業の承認要件

### 【要件1：地域の特性を活用すること（①②のいずれか）】

- ①函館地域における公立はこだて未来大学等の人材を活用した**第4次産業革命（IoT・AI技術等）**
- ②函館地域における食料品製造業の産業集積を活用した**食料品製造関連分野**

### 【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・ 地域経済牽引事業計画の計画期間を通じた地域経済牽引事業による付加価値増加分が3,920万円超

### 【要件3：以下の①～③のいずれかの経済的効果が見込まれること】

- ・ 地域経済牽引事業計画の計画期間を通じた地域経済牽引事業により、促進区域内において
  - ①取引額：3%増加
  - ②売上：3%増加
  - ③雇用者数：3%増加

## 計画期間

計画同意の日から平成34年度末日まで